

えぼ丸

えぼ丸通信 No.14



えぼし麻呂

「えぼ丸通信」の名前は、茅ヶ崎市と寒川町それぞれのオリジナルキャラクターである「えぼし麻呂」と「げんき丸」の名前の一部を頂き、合体したものです。

発行元：茅ヶ崎市保健所
地域保健課在宅ケア相談窓口
〒253-8660
茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目 8-7
TEL 0467-38-3319(直通)



げんき丸

『ワクチン接種って必要？安心？』

～大切な人を守るために～

第23回多職種連携研修会（Webセミナー）を開催しました。令和3年4月26日に撮影し、関係者向けに5月17日から6月18日までYouTubeにてオンライン配信をしました。

司会・進行
菅原 一郎医師
(鶴が台菅原医院副院長)

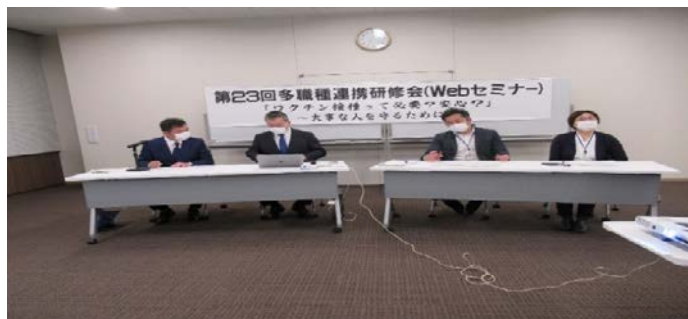
國島 広之医師
(聖マリアンナ医科大学
感染症学講座教授)

伊藤 昌宏課長補佐
(茅ヶ崎市健康増進課
こども健康・予防接種担当)

坂蒔 恵利子保健師
(寒川町高齢介護課主任
※健康づくり課代理)



くにしま 國島 広之 感染症学講座教授



新型コロナウイルスの感染リスク

ワクチン

1/10

手洗い(1/3)
×
マスク(1/6)
×
1m距離(1/2)

1/36

手洗い(1/3)
×
マスク(1/6)
×
1m距離(1/2)
×
ワクチン(1/10)

1/360

感染リスクはゼロにはならない
日ごろの感染対策バンドルを励行することも大切

新型コロナワクチンの副反応として、接種部位の発赤・腫脹・発熱が、約12%にみられ、特に発熱は、2回目の接種で、約40%にみられます。

副反応はあるものの、新型コロナワクチン接種者は、2回目の接種後1週間から半年後までの間、発症を90%以上防止しているデータがあり、発症・重症化予防効果が期待できます。

集団免疫を獲得するためには、ワクチン接種率60～70%が必要とされています。

大切な人を守るために多くの人がワクチンを接種することが重要です。

また、ワクチン接種だけでは、感染リスクは10分の1に減るだけです。集団免疫を獲得するまでは、手洗い、マスク、3密を避けるなど日頃の感染対策を続けることが大切です。

【茅ヶ崎市健康増進課】

6月から集団接種と医療機関での個別接種を実施

【持参するもの】

- ① 接種券シート(はがさないでください)
- ② 記入済みの予診票
- ③ 保険証などの本人確認書類
(運転免許証・健康保険証・後期高齢者受給者証
年金手帳・介護保険被保険者証など)

茅ヶ崎市新型コロナワクチンコールセンター
0570-022-028 平日～土曜日、9時～18時
054-270-5280 (IP電話等で繋がらない場合)

【寒川町健康づくり課】

5月末から集団接種と医療機関で個別接種を実施

【持参するもの】

- ① 接種券
- ② 記入済みの予診票
- ③ 本人確認書(運転免許証など写真付きは1枚、
健康保険証など写真のないものは、介護保険被
保険者証や診察券等2点)

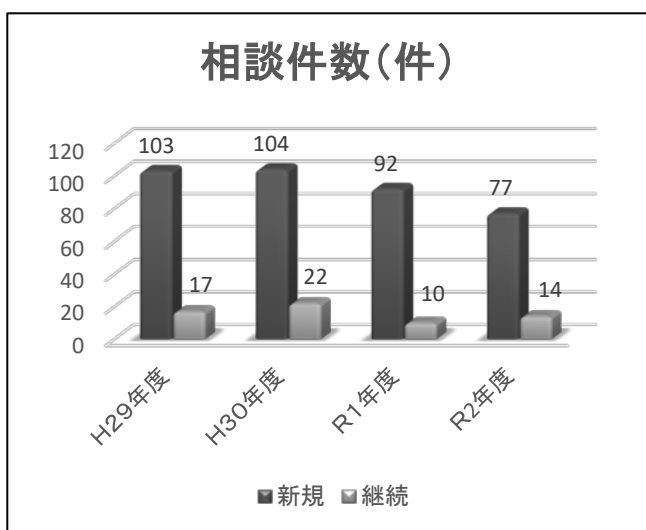
寒川町ワクチン接種コールセンター
050-2018-2341 平日～土曜9時～17時30分
0120-10-6071 (フリーダイヤル)

※当日は、肩が出しやすい服装で、お薬手帳があればご持参ください。

接種後の副反応等の相談先

神奈川県新型コロナワクチン副反応等相談コールセンター
045-285-0719 24時間対応

在宅ケア相談窓口の4年間の相談状況



平成29年6月から、茅ヶ崎市保健所にて在宅ケア相談窓口を開設して4年が経過しました。

令和2年度は、地域での依頼講座や住民向け研修会を中止したこと等の影響によって、相談件数が減少しました。

今年度は、感染対策を取りながら11月には、住民向け研修会を開催の予定です。

在宅医療や介護に関するお困りごとなどありましたら、お気軽にご相談ください。

0467-38-3319 (在宅ケア相談窓口直通)

平日 8時30分～17時

65歳以上の方の新型コロナウイルスワクチン接種がはじまりました。中には、コールセンターの電話が通じない、集団接種の予約が直ぐに一杯になってしまうなど、混乱が続いていますが、必ず希望の方にはワクチン接種ができる状況です。

今年度は、住民の皆様が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護の関係者が連携する環境を整えるため、少しずつ多職種が集まって意見交換ができるように検討を進めています。